

TOTO

壁付サーモスタット混合水栓（シャワーバー）

TBW01403J型
TBW01405J型
TBW01406J型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

警告



禁止

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



給湯温度は85℃より高温で使えない

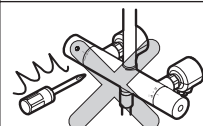
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う
使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。



警告



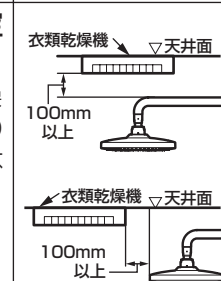
必ず実行

フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う
また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認する
高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーバーは衣類乾燥機の温風吹出口および空気吸込口から100mm以上離して取り付ける

消防法第九条に基づく市町村条例基準により、浴室用衣類乾燥機が設置してある場所へのシャワーバー取り付けには、下記のような防災上の規制がある地域がありますので、不明な点は所轄の消防署など行政官庁にあらかじめご相談ください。
(例) 東京消防庁設置基準
「温風吹出口および空気吸込口の100mm以内に衣類を含め、一切のしゃへい物がないこと」



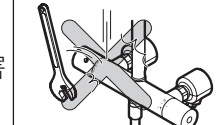
注意



禁止

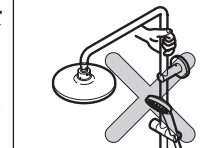
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーバーを手すりとして使用したり、ぶら下がったり、登ったりしない

滑ったり、外れたりしてけがをするおそれがあります。また、故障や水漏れの原因になります。

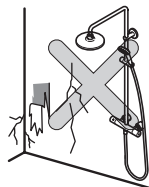


注意

必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける

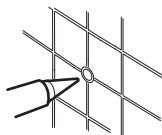
取り付けの際は必ず取り付け可能な壁であることを確認してください。壁の強度が不足していると、商品が外れたり、壁が壊れたりしてけがをするおそれがあります。システムバス・ユニットバスで壁の材質がわからないときは、システムバス・ユニットバスメーカーにお問い合わせください。

浴室壁材		取り付け可否
在来浴室	木下地	○
	コンクリート下地	○
ユニットバス および システムバス	0.4mm以上の鋼板の壁 塩ビ鋼板複合パネル、HQパネル、QCパネルなど	○
	その他<例>タイル、プラスチック、天然大理石など	×



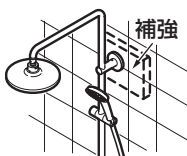
取り付ける穴の周囲に必ずシーリング剤を塗布する

シーリング剤を塗布しないと、壁裏へ水が浸入し、シャワーバーが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。



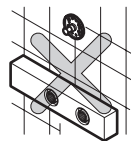
各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認する

下地に十分な厚み・補強がないと、シャワーバーが外れたり、壁が壊れたりして、けがをするおそれがあります。



取り付ける壁に段差のないことを確認する

商品がガタついたり、接続部から水漏れする原因になります。



ねじは必ず指定の本数で固定する

壁が壊れたり、商品が外れてけがをするおそれがあります。



取り付け完了後、シャワーバーにガタツキがないことを確認する

シャワーバーにガタツキがあると、シャワーバーが外れたり、壁が壊れたりして、けがをするおそれがあります。



必ず実行

仕様

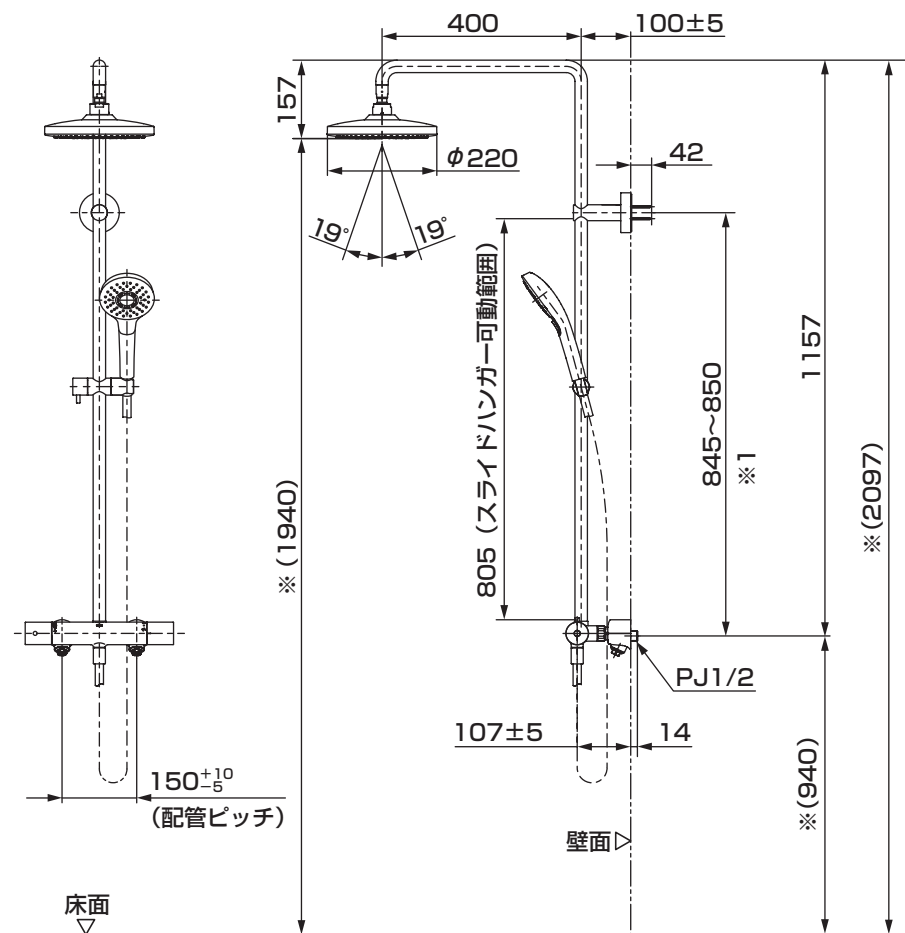
		TBW01403J型 TBW01406J型	TBW01405J型
給水・給湯圧力	使用必要水圧	0.12MPa(流動時)	0.15MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)	
使用最高温度		85℃以下	
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度		1～40℃	
用途		一般住宅浴室用	

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3 MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。
- やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。
快適な吐水温度を確保するために50～60℃設定をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- シャワーバーを取り付ける壁に十分な強度があることを確認してください。(施工手順 6-3 を参照してください)
- 固定方法は建物の構造に応じて適切な方法を選んでください。
シャワーバーには座金付きタッピンねじ(4本)を同梱しています。
また、コンクリート下地の場合には同梱の樹脂プラグを使用してください。(TBW01403J型、TBW01405J型)
鋼板壁の場合には同梱のトラスタッピンねじ(8本)を使用してください。(TBW01406J型)

4 完成図

(単位：mm)

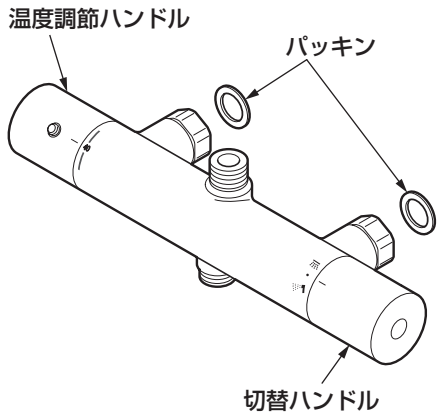
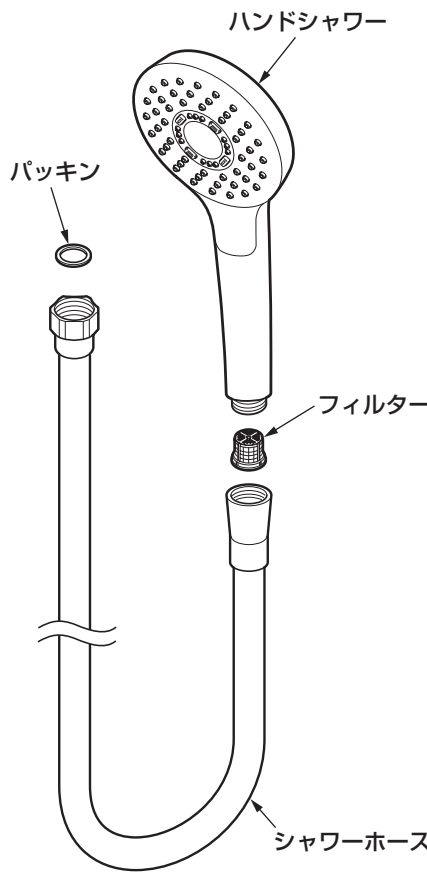
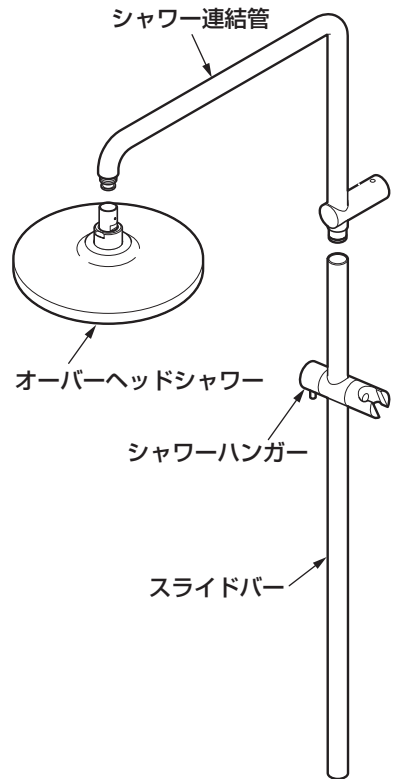
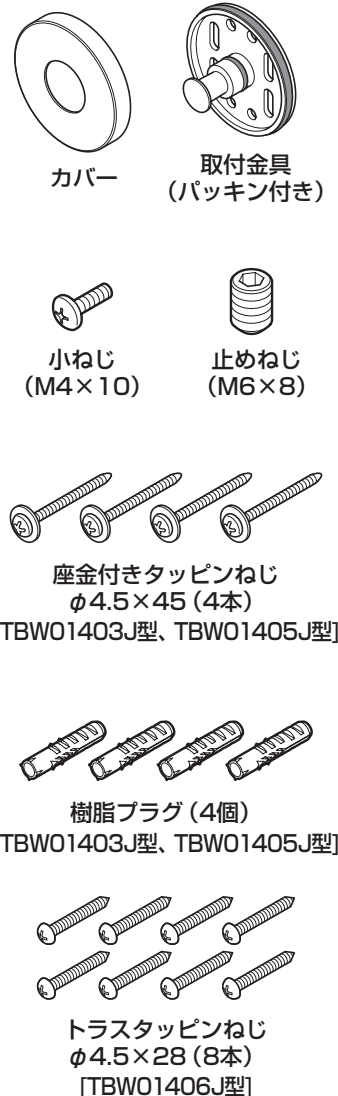
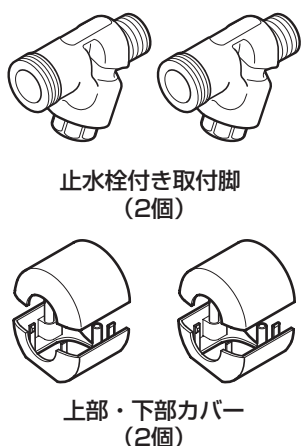


※() 寸法は参考寸法です。使用者の身長、天井高さなど考慮のうえ取り付けてください。
※1 配管ピッチにより変わります。

5

部品の確認

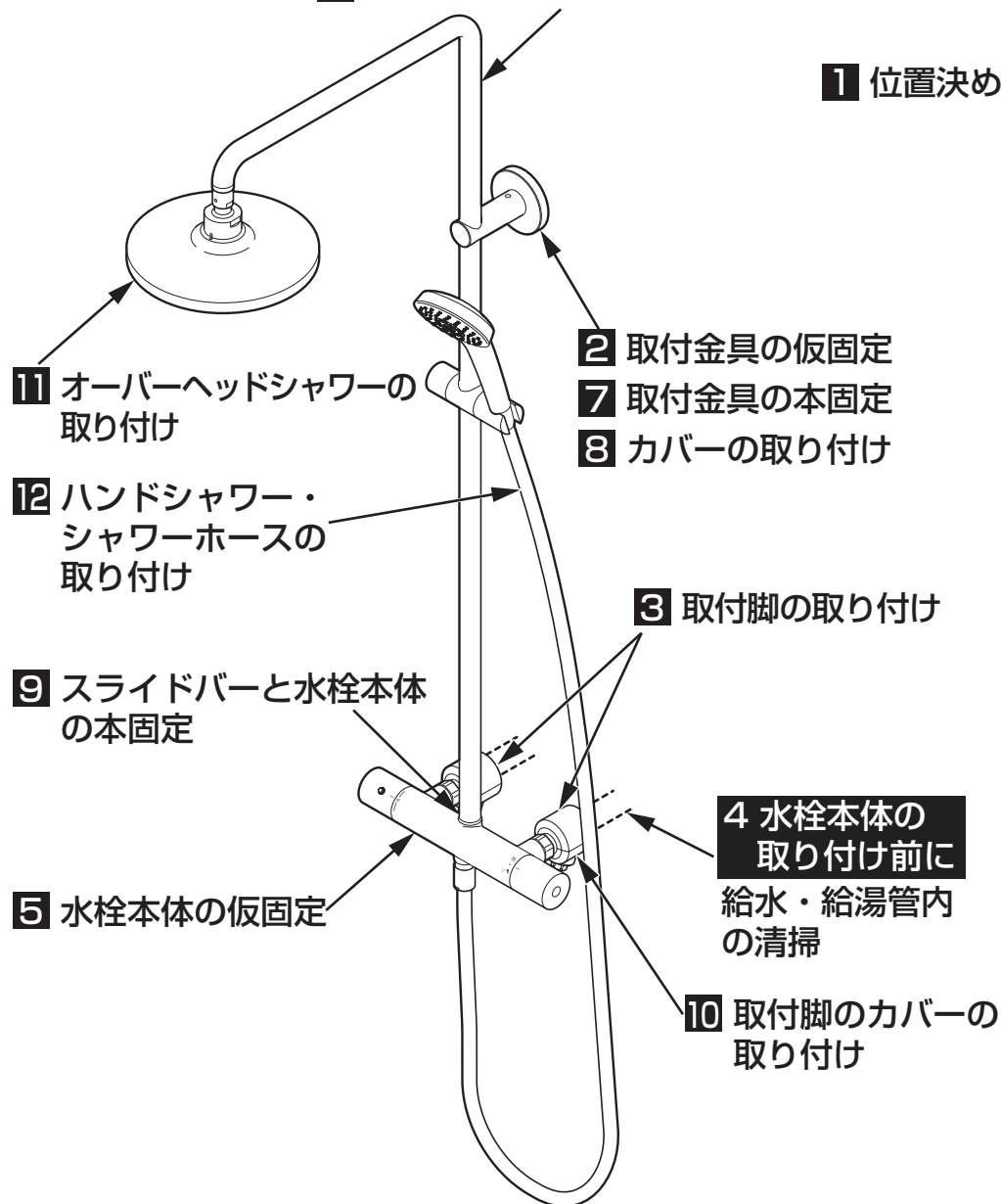
次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	ハンドシャワー部	オーバーヘッドシャワー部	取付金具部	その他
	 [TBW01406J型] 同梱なし			必ずお客様にお渡しください  取扱説明書  使いかたラベル  開閉工具 (ウォームピラー 搭載タイプのみ)  施工説明書  六角棒レンチ (対辺3mm)  六角棒レンチ (対辺1.5mm)
取付脚部				
				

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

6 シャワー連結管・スライドバーの組み立て

1 位置決め

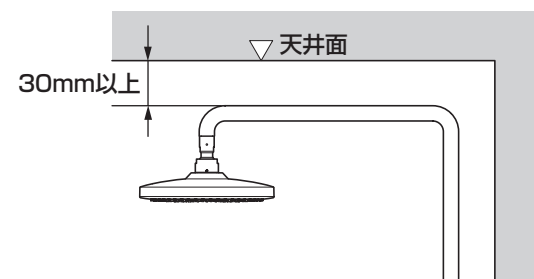


1-1 位置決め

お客様とご相談のうえ、取り付け位置を決めてください。

以下のスペースを確保してください。

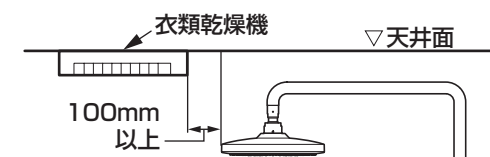
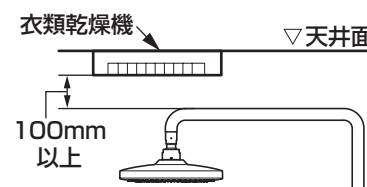
- 天井面から30mm以上確保してください。
天井面との間で指を挟むおそれがあります。



【浴室用衣類乾燥機をご使用の場合】

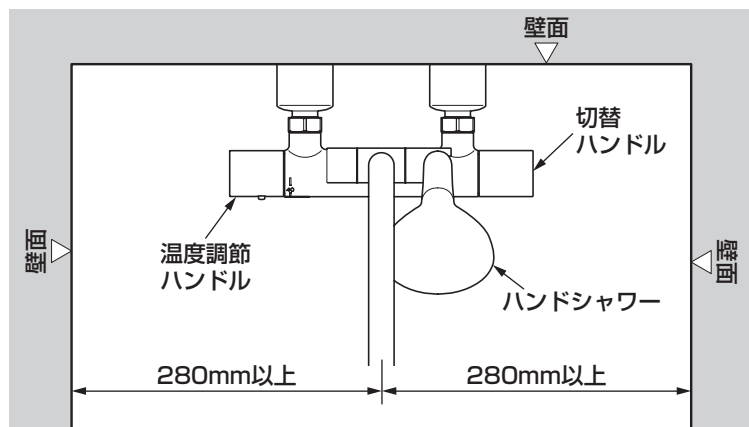
- シャワーバーは、衣類乾燥機の温風吹出口および空気吸込口から100mm以上離して取り付けてください。

→詳しくは、「1-1 安全上の注意」を参照してください。

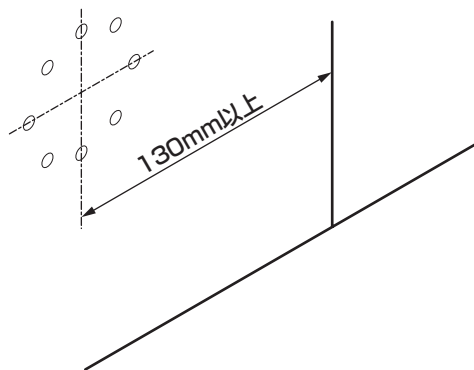


1-2 位置決め(つづき)

- 取付心の位置は浴室コーナー部から280mm以上離してください。
切替ハンドル、温度調節ハンドル、ハンドシャワーの使い勝手が悪くなることがあります。

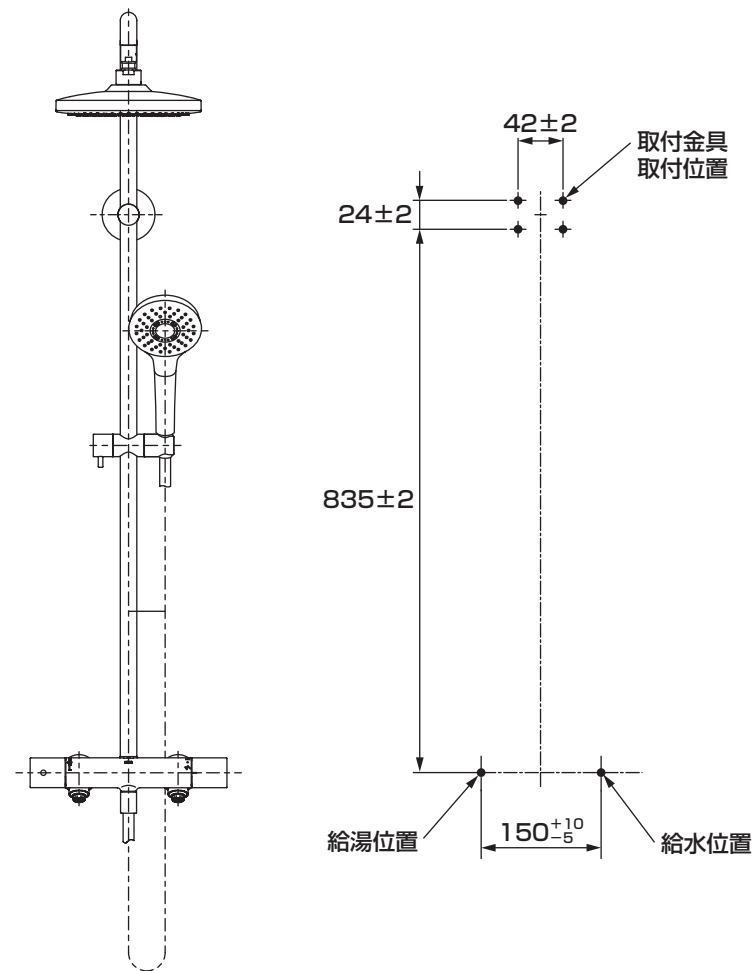


ユニットバス・システムバスの場合、
壁パネルのつなぎ目からも130mm以上離してください。



- シャワーバーの取付位置を決め、穴あけ位置を決める。

(単位：mm)



取付図

穴あけ図

2-1 取付金具の仮固定

取付金具の取付方法は取り付ける壁によって異なります。下記に従って取り付けてください。

注意

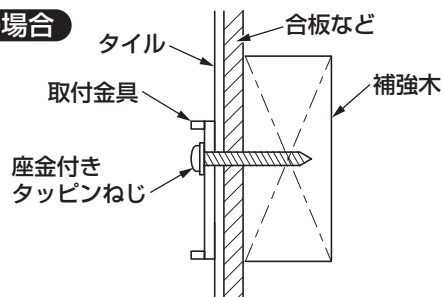
- 正しいサイズのドリルをお使いください。
下穴が大きすぎると、芯振れをおこして正しい固定ができないことがあります。
また、下穴が小さすぎると、タイル割れをおこすおそれがあります。
- 各壁材に応じて、適切なドリルを使用してください。
- 穴あけ後は、下穴にシール材を必ず充填してください。
- 30mm以上の補強木を必ず取り付けてください。
補強木をつけないとシャワーバーがガタついたり、外れたりすることがあります。

<浴室壁材ごとの下穴径と必要数>

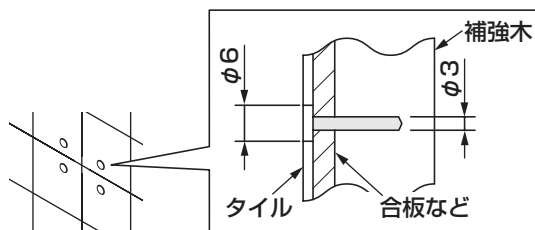
		下穴径 (mm)	穴数	使用ねじ他(同梱)	
				樹脂プラグ	使用ねじ
在来工法浴室	木下地	φ3	4	不要	座金付きタッピンねじ φ4.5×45
	コンクリート下地	φ6		要	
システムバス ユニットバス	鋼板壁 厚さ0.4mm以上	φ3.5	8	不要	トラスタッピンねじ φ4.5×28

※鋼板壁以外のユニットバス・システムバス(タイル・プラスチック・大理石など)には取り付けできません。

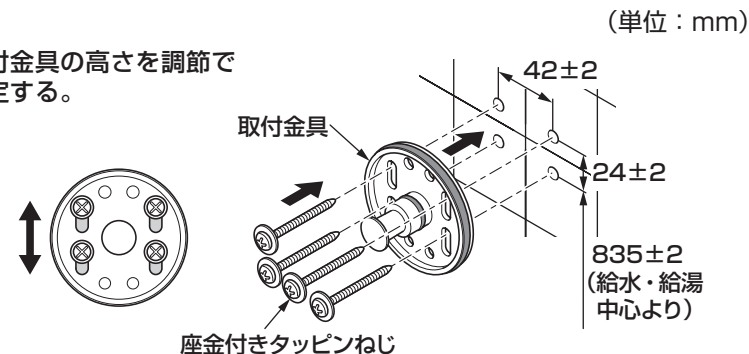
木下地：タッピンねじ固定の場合



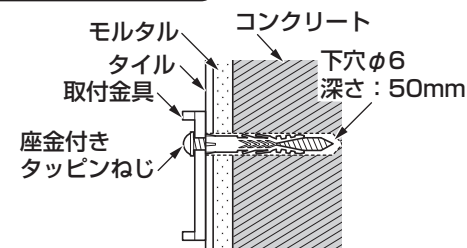
- ①取付位置にφ3mmの下穴をあける。
(タイル壁の場合は、タイル部のみ通し穴をφ6mmのドリルであける。)



- ②下図のように取付金具の高さを調節できる程度に仮固定する。

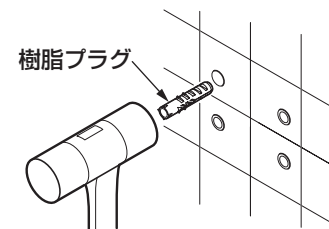


コンクリート下地：プラグ固定の場合

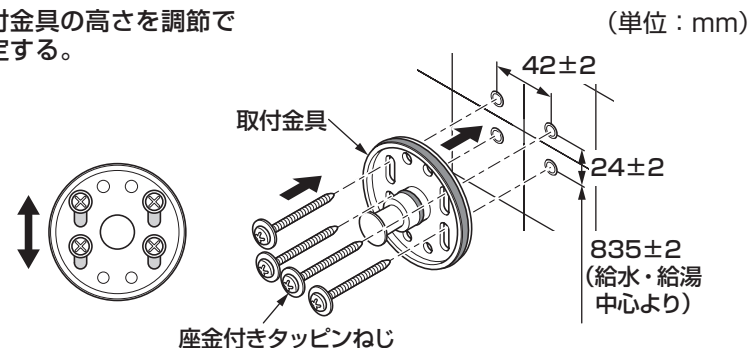


- ①取付位置にφ6mm深さ50mmの樹脂プラグの下穴をあける。

- ②樹脂プラグを軽く打ち込む。



- ③下図のように取付金具の高さを調節できる程度に仮固定する。



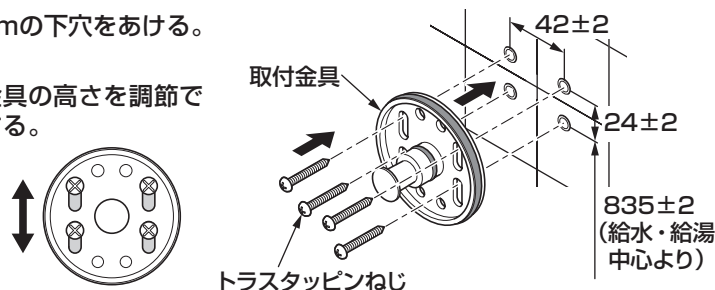
2-2 取付金具の仮固定 (つづき)

(単位: mm)

鋼板壁: トラストッピンねじの場合

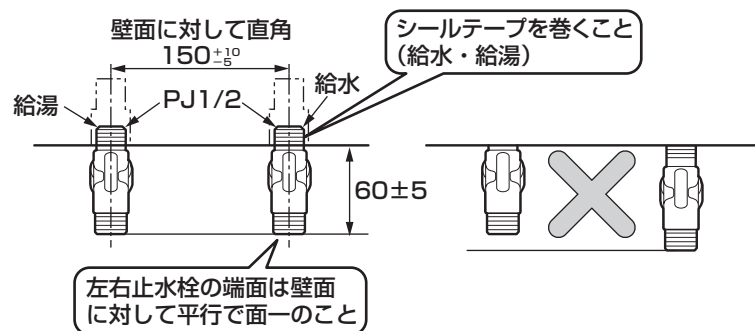
①取付位置にφ3.5mmの下穴をあける。

②下図のように取付金具の高さを調節できる程度に仮固定する。

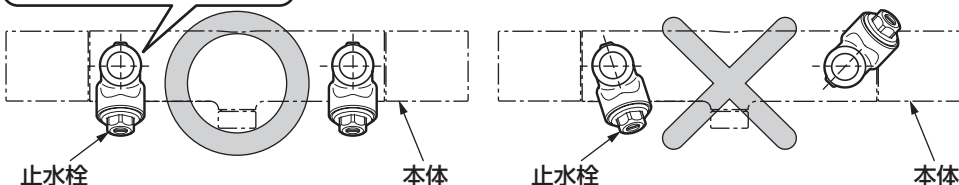


3 取付脚の取り付け

(単位: mm)



※止水栓を内側に施工した場合、流量調節やフィルターのメンテナンスが困難となります。

左右取付脚の本体接続部が
同じ高さのこと

4 水栓本体の取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

商品を取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。****重要****注意**

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

- ①吐水量が少ない
- ②温度調節がうまくできない

給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。



バケツなど水受けとなるものを準備し、壁や床に水が飛び散らないよう止水栓をゆっくり開き、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流す。

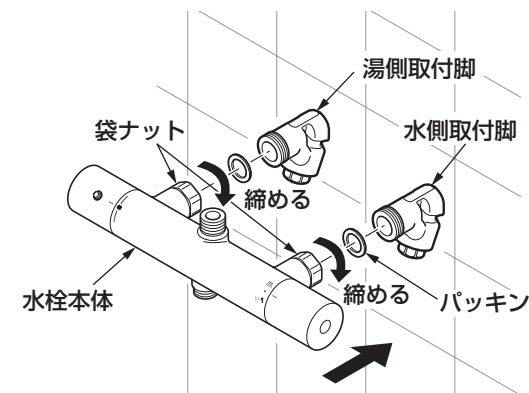
5 水栓本体の仮固定

袋ナットの中にパッキンが入っていることを確認する。
湯側・水側の袋ナットを交互に手で軽く締め付け水栓本体を取付脚にゆるめに仮固定する。

注意

取付脚は回さないでください。

配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。



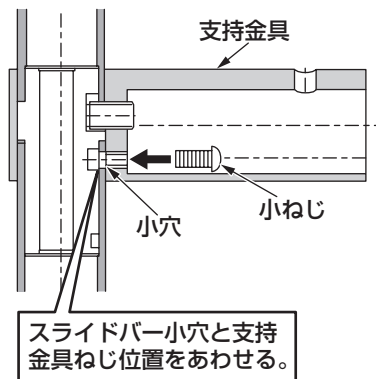
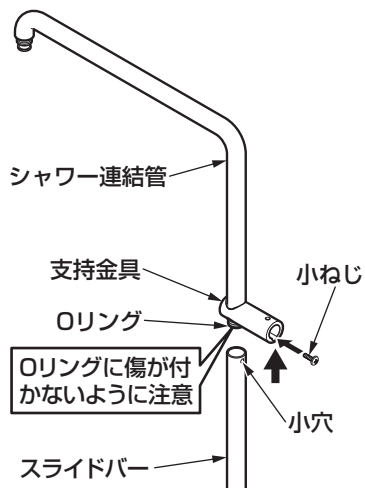
裏面へつづく

6 シャワー連結管・スライドバーの組み立て

スライドバー小穴と支持金具のねじ位置をあわせて、スライドバーを支持金具に差し込み、小ねじ(M4×10)で固定する。

注意

Oリングに傷が付かないように注意してください。



7-1 取付金具の本固定

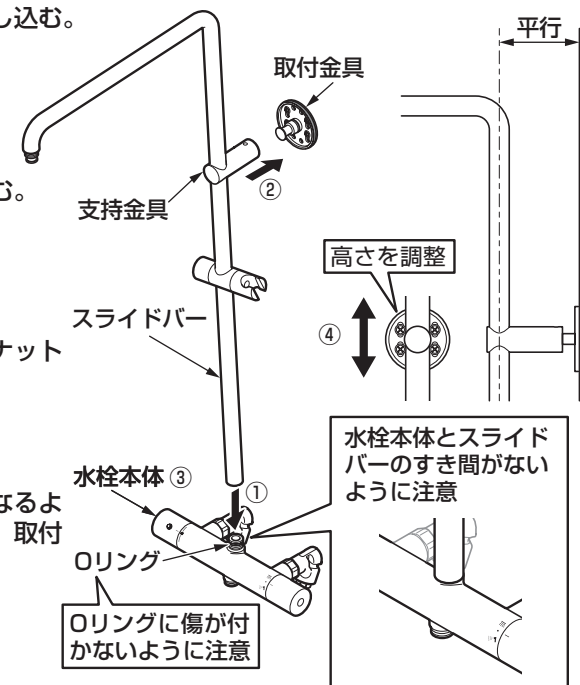
木下地、コンクリート下地の場合

①スライドバーを水栓本体に差し込む。

②支持金具を取付金具に差し込む。

③仮固定していた水栓本体の袋ナットを本固定程度に締め付ける。

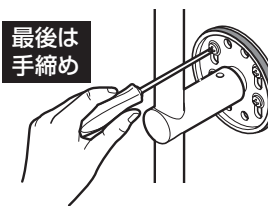
④スライドバーと壁とが平行になるように取付金具の高さを調整し、取付金具を本固定する。



●ねじを空転させないよう、最後の締め付けは手締めで行い、ねじが固定金具に接して半回転以上締め込まないこと。

※ねじを空転させるとガタついたり、外れたりして使用される方がけがをするおそれがあります。

最後は手締め



7-2 取付金具の本固定 (つづき)

鋼板壁の場合

① スライドバーを水栓本体に差し込む。

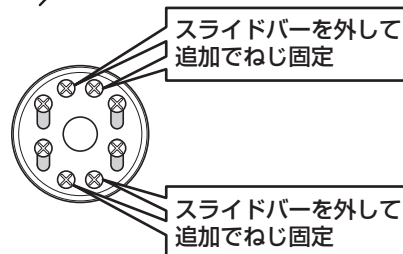
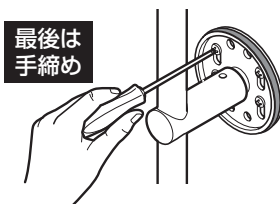
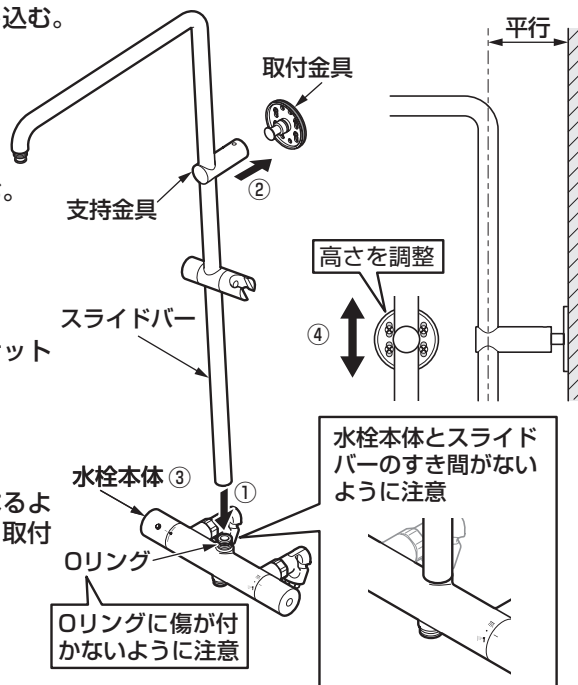
② 支持金具を取付金具に差し込む。

③ 仮固定していた水栓本体の袋ナットを本固定程度に締め付ける。

④ スライドバーと壁とが平行になるように取付金具の高さを調整し、取付金具を本固定する。

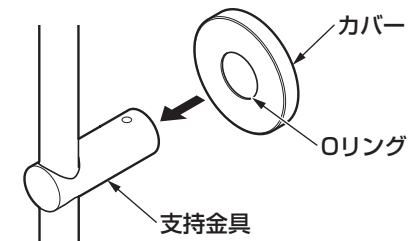
● ねじを空転させないよう、最後の締め付けは手締めで行い、ねじが固定金具に接して半回転以上締め込まないこと。
 ※ ねじを空転させるとガタついたり、外れたりして使用される方がけがをするおそれがあります。

⑤ 水栓本体の袋ナットをいったんゆるめ、スライドバーを外す。

⑥ 固定金具の残りの取付穴 (4カ所) に $\phi 3.5\text{mm}$ の下穴をあけて取付金具を本固定する。(合計8カ所)

8 カバーの取り付け

水栓本体の袋ナットをいったんゆるめ、スライドバーを外し、支持金具にカバーを取り付ける。



9 スライドバーと水栓本体の本固定

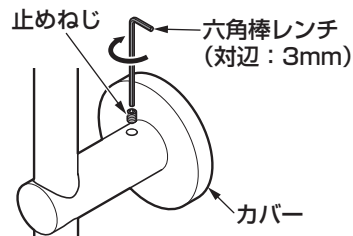
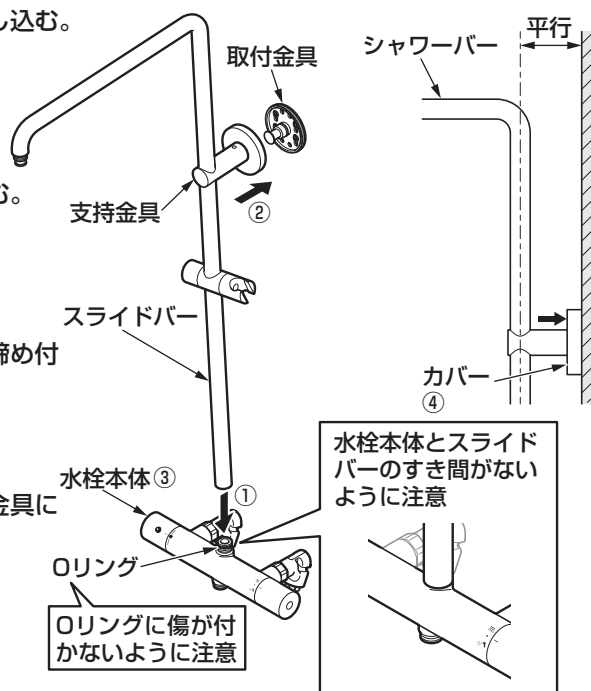
①スライドバーを水栓本体に差し込む。

②支持金具を取付金具に差し込む。

③水栓本体の袋ナットを交互に締め付けて水栓本体を本固定する。

④カバーを壁方向に押さえ取付金具に装着する。

⑤スライドバーが壁と平行になるように調整し、止めねじで支持金具を固定する。
止めねじは、まず六角棒レンチを縦使いにして回らなくなるまで締め付け、次に横使いにして1/4回転以上増し締めする。



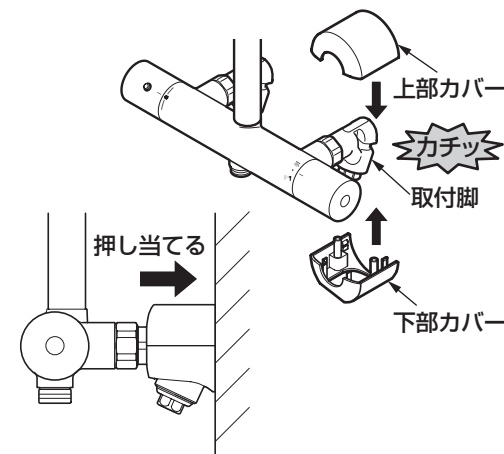
10 取付脚のカバーの取り付け

①下部カバーを取付脚に取り付け、上部カバーを位置決めし、「カチッ」と音がするまで挿入する。

注意

カバーを無理に取り付けるとつめが折れるおそれがありますので、位置決めを確実に行ってください。

②カバーを壁面まで押し当てる。

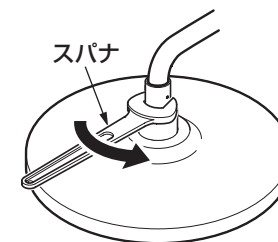
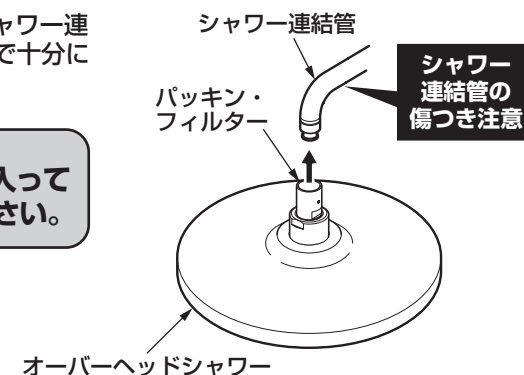


11-1 オーバーヘッドシャワーの取り付け

①オーバーヘッドシャワーをシャワー連結管の先に差し込み、スパナで十分に締め込む。

注意

パッキン・フィルターが入っていることを確認してください。



11-2 オーバーヘッドシャワーの取り付け(つづき)

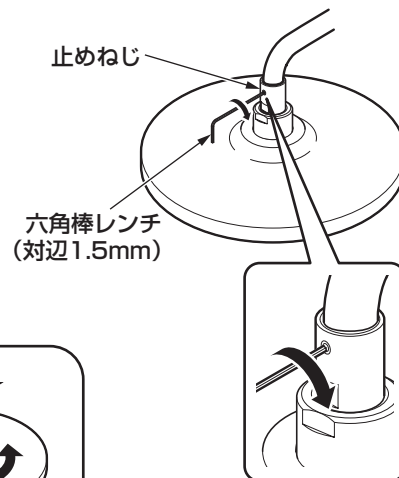
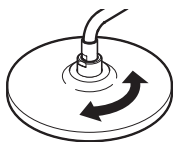
- ②止めねじ部のテープをはがし、止めねじを付属の六角棒レンチ(対辺1.5mm)で締め付ける。

注意

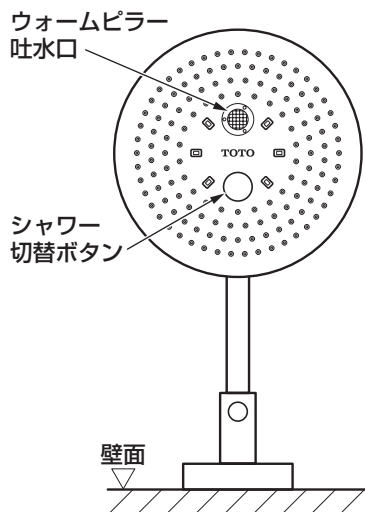
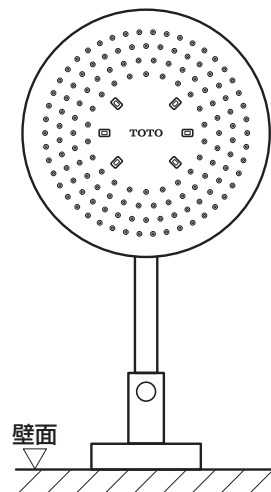
止めねじは落下防止用の部材です。
確実に締め付けてください。

取り付け後の確認

オーバーヘッドシャワーの取り付け後、オーバーヘッドシャワー部を回しても締め付け部がゆるまないことを確認してください。



- ③オーバーヘッドシャワーの向きを下図のようにあわせる。

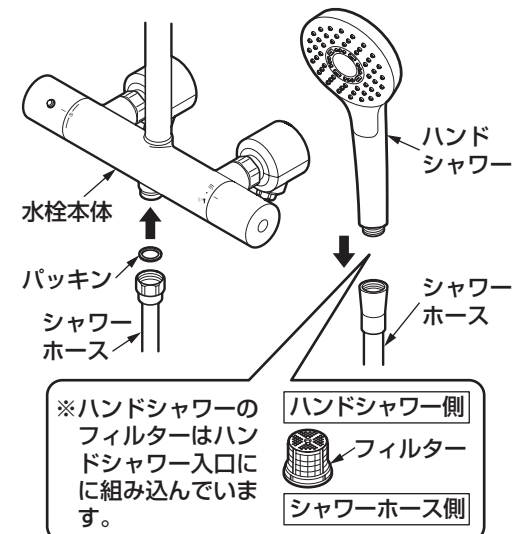
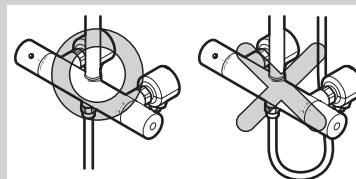
2モードの場合**1モードの場合**

12 ハンドシャワー・シャワーホースの取り付け

シャワーホースを水栓本体に取り付ける。
ハンドシャワーをシャワーホースに取り付ける。

注意

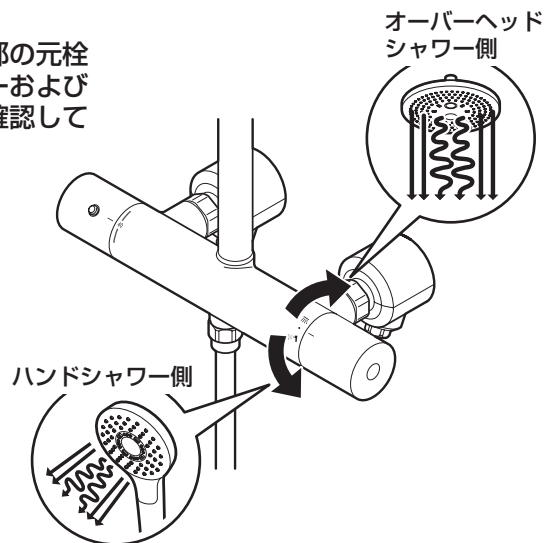
- フィルター・パッキンが入っていることを確認してください。
- シャワーホースを取付脚の間から取り出さないでください。ホースの折れや破損のおそれがあります。



1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、オーバーヘッドシャワーおよびハンドシャワーから水が出るか確認してください。

※ハンドルを閉めても水栓内の残水により、水が止まるまで時間がかかることがあります。

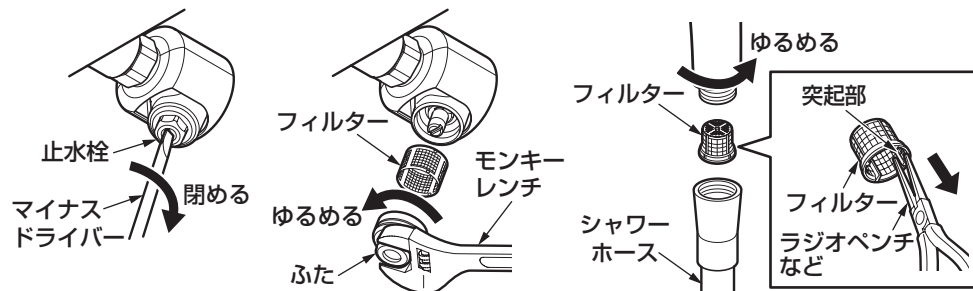


2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓または元栓を確実に閉め、フィルターを外し、フィルターに詰まったごみを歯ブラシなどで取り除いてください。また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認してください。

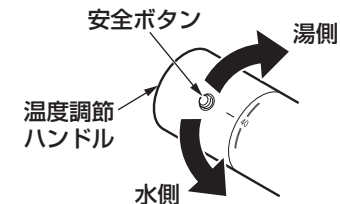


3. 流量の調節

切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で**止水栓**を調節してください。

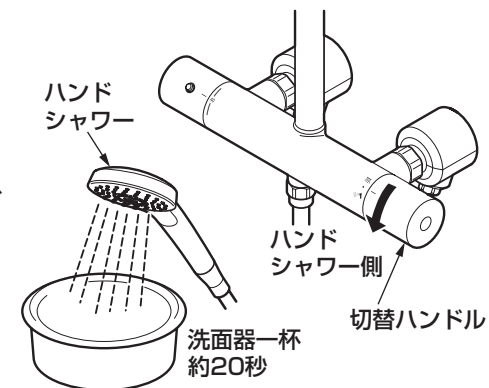
1. 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱい回し、切替ハンドルを下に回す。

ハンドシャワーから水が出ます。



2. 流量が12L/分程度(洗面器一杯にするのに約20秒)になるように水側止水栓で調節する。

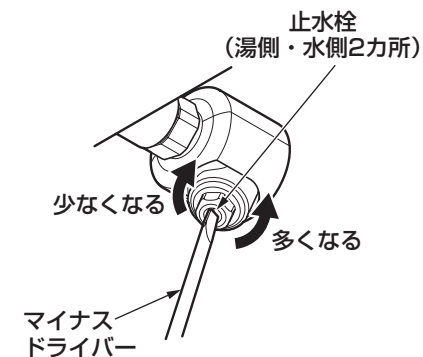
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。



3. 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱい回し、2.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

⚠ 警 告

❗ 必ず実行 湯側の調節を行うときは十分に注意する
熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。



4. 吐水温度の確認

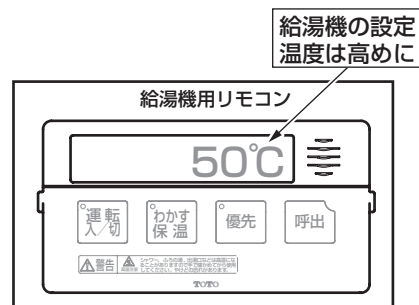
温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。

吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。

温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。

快適な吐水温度を確保するために、50～60℃設定をおすすめします。



2. 温度調節ハンドルのラインを目盛り"40"にあわせる。



3. 切替ハンドルを下いっぱいに戻す。

ハンドシャワーから水が出ます。

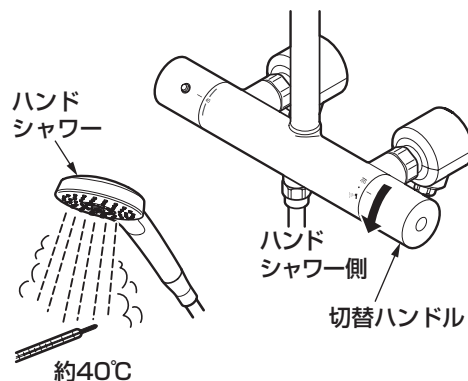
4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。

温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。

やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。

給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。



5. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。

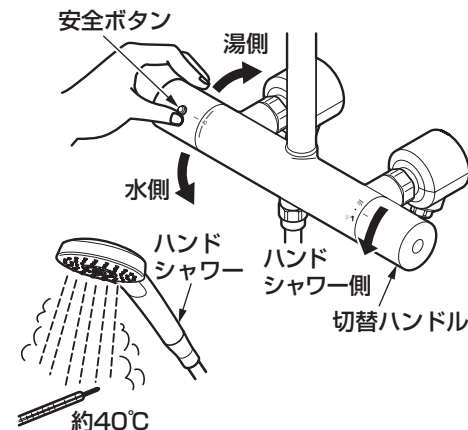
TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承りますが有料作業となります。

1. 切替ハンドルを下いっぱいに戻す。

ハンドシャワーから水が出ます。

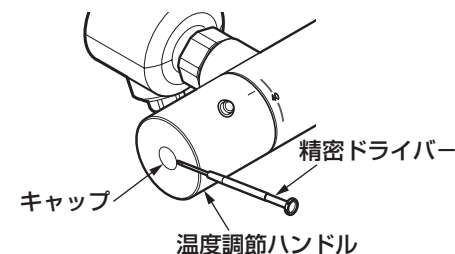
2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40℃)の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



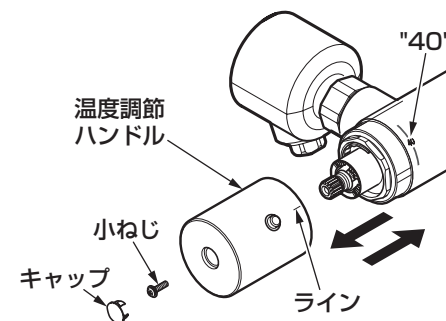
3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。



4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

目盛り"40"の文字とラインをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。



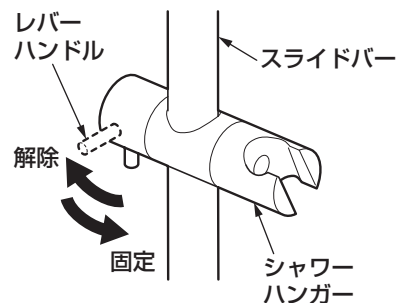
5. 固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。

6. シャワーハンガーの高さ調整

レバーハンドルを上に戻すと固定が解除され、シャワーハンガーを上下に移動できます。

レバーハンドルを下に戻すとシャワーハンガーがスライドバーに固定されます。

レバーを解除すると、重さによってシャワーハンガーが急に落下することがありますので、手を添えながらレバーを解除してください。

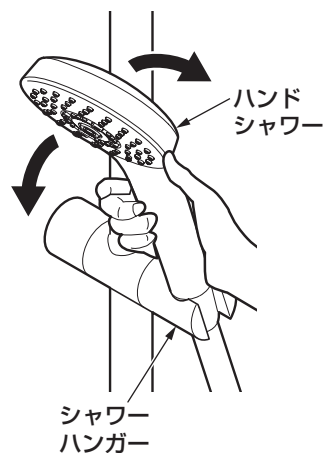


7. シャワーハンガーの角度調節

ハンドシャワーを差したまま、シャワーハンガーを好みの角度に回転させ、シャワーの散水角度を調節してください。

※ハンドシャワーの角度によっては、水を止めたときに水垂れする場合があります。その場合は角度を調節してください。

※ハンドシャワーの流量を調節してご使用ください。ハンドシャワーの流量が多すぎると、シャワーの勢いで角度が変わったり、ハンドシャワーが外れたりすることがあります。



取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどがないことを確認の上、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。

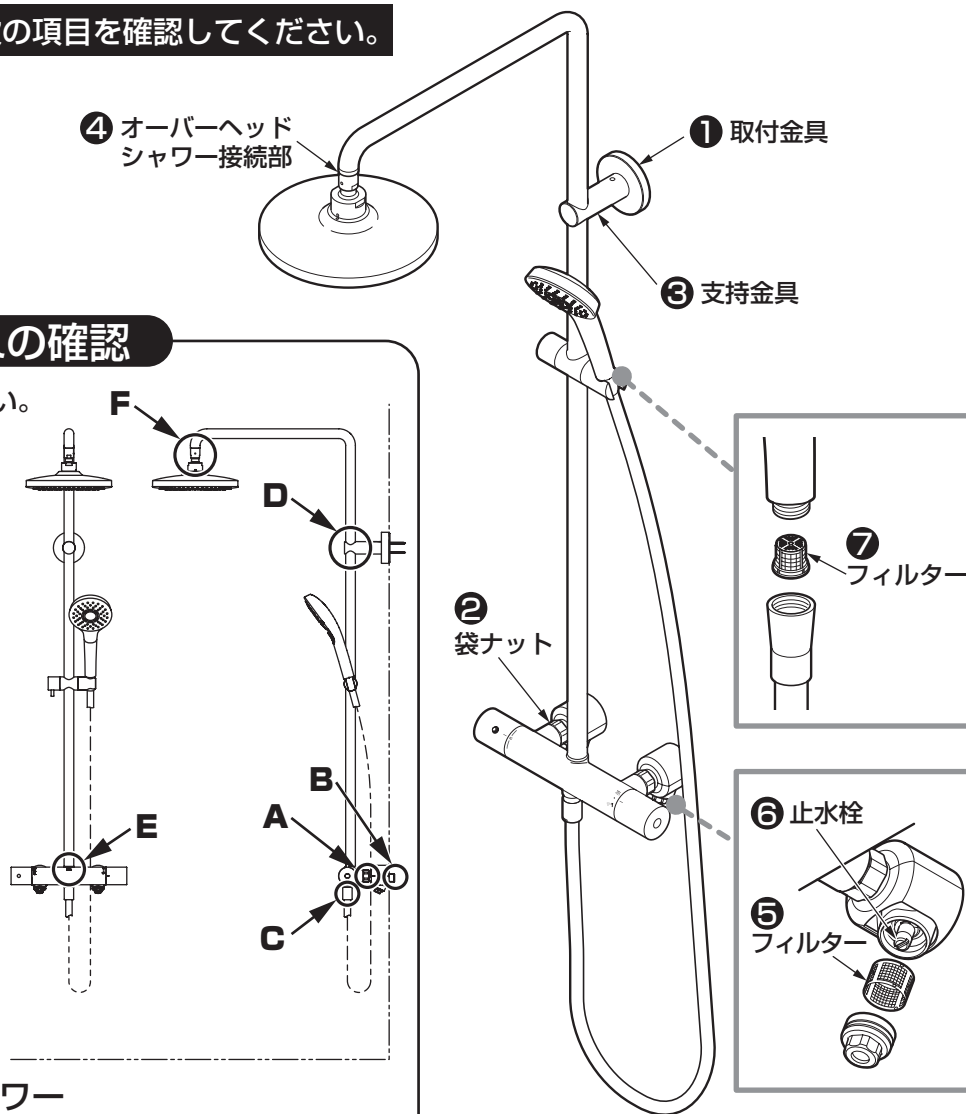
D・Eから水漏れがある場合

Oリングが入っているか確認後、再度、取り付けてください。

F オーバーヘッドシャワー接続部の水漏れがある場合

➡ **6-7 - 11**

「オーバーヘッドシャワーの取り付け」参照



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① 取付金具のガタツキはないですか？

➡ **6-5 - 7**「取付金具の本固定」参照

② 袋ナットのゆるみはないですか？

③ 支持金具のガタツキはないですか？

➡ **6-7 - 9**「スライドバーと水栓本体の本固定」参照

④ オーバーヘッドシャワー接続部のガタツキはないですか？

➡ **6-7 - 11**「オーバーヘッドシャワーの取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑤ ⑦ フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ **7-1 2.フィルターの掃除** 参照

⑥ 止水栓は開いていますか？

➡ **7-1 3.流量の調節** 参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。